

【NEWS RELEASE】

2018年5月7日

各 位

株式会社三井住友銀行

投資信託「ライフ・ジャーニー(愛称：最高の人生の描き方)」の取扱開始について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、投資信託「ライフ・ジャーニー（愛称：最高の人生の描き方）」（委託会社：三井住友アセットマネジメント株式会社）の募集を、2018年5月8日(火)より開始します。

「人生100年時代」が話題となる今、お客さまの価値観やライフスタイルはますます多様化してきております。このような環境下、「ライフ・ジャーニー(愛称：最高の人生の描き方)」では、ひとつの投資信託に分配方針の異なる「かしこく育てるコース」「かしこく使うコース」「充実して楽しむコース」の3つのコースをご用意しました。お客さまがご自身のライフステージに合わせて柔軟にコース変更をしていただくことで、資産寿命の長期化ニーズにお応えする新しい投資信託です。

三井住友銀行では、今後ともお客さまの多様化するニーズに幅広くお応えできるよう、より一層商品の充実に取り組んでまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
広報部 氷室 TEL: 03-4333-3730

ファンドは投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。

【 別 紙 】

商品の概要は以下の通りです。

1. 商品の特色

名称	ライフ・ジャーニー（愛称：最高の人生の描き方） （かしこく育てるコース）（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）														
ファンド形態	追加型投信 / 内外 / 資産複合														
ファンドの特徴	<p>「退職世代（年金世代）とその準備世代」のさまざまな資産活用ニーズに対応します。資産成長と資金払出の割合の違いによる、3つのコースからご選択いただけます。また、各コース間でスイッチングが可能です。</p> <table border="1"> <tr> <td>コース名</td> <td>かしこく育てるコース</td> <td>かしこく使うコース</td> <td>充実して楽しむコース</td> </tr> <tr> <td>決算回数</td> <td>年2回（3月、9月）</td> <td>年6回（奇数月）</td> <td>年6回（奇数月）</td> </tr> <tr> <td>分配方針等</td> <td>分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。</td> <td>目標分配率を年3%（各決算時0.5%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。</td> <td>目標分配率を年6%（各決算時1%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。</td> </tr> </table> <p>委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>実質的な運用は、運用資産残高で世界最大級の運用会社であるブラックロックが行います。</p>			コース名	かしこく育てるコース	かしこく使うコース	充実して楽しむコース	決算回数	年2回（3月、9月）	年6回（奇数月）	年6回（奇数月）	分配方針等	分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。	目標分配率を年3%（各決算時0.5%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。	目標分配率を年6%（各決算時1%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。
コース名	かしこく育てるコース	かしこく使うコース	充実して楽しむコース												
決算回数	年2回（3月、9月）	年6回（奇数月）	年6回（奇数月）												
分配方針等	分配を極力抑制するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。	目標分配率を年3%（各決算時0.5%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。	目標分配率を年6%（各決算時1%）相当とし、目標分配率に応じた分配（資金払出）を行うことを目指します。												
当初募集期間	2018年5月8日（火）～ 2018年5月15日（火）														
設定日	2018年5月16日（水）														
設定・運用会社	三井住友アセットマネジメント株式会社														

くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

2. お客さまにご負担いただく費用

購入時手数料	2.16% (税抜2.0%) 購入時手数料には消費税等相当額がかかります。 購入時手数料は、購入価額(基準価額×購入口数)に手数料率(税込)を乗じて得た額とします。
スイッチング手数料	ありません。
換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.1124%(税込)の率を乗じた額 投資対象とする投資信託の運用報酬等を含めた場合、最大年1.9388%(税込)となります。 投資対象とする投資信託が組入れを想定しているETFへの投資割合で計算した場合、年1.5283%(税込)程度(2018年2月末現在)となります。 投資対象とする投資信託の運用報酬等には、上記の率に加えて、別途、受託報酬等がかかります。そのため、実質的な負担はこれらの報酬を加えたものとなります。なお、これらの報酬は、ファンドの運用状況や資産規模等によって変動します。このため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。
その他の費用・手数料	上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等(それらにかかる消費税等相当額を含みます。)が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

手数料等の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

3. ファンドの投資リスクについて

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託が投資対象とするETF等は、主として内外の株式、債券および不動産投資信託(リート)を投資対象としており、その価格は、保有する株式、債券および不動産投資信託(リート)の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。ファンドが組み入れる投資信託が投資対象とするETF等の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

基準価額の主な変動要因として、株式市場リスク、債券市場リスク、不動産投資信託（リート）に関するリスク、信用リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、市場流動性リスク等があります。

くわしくは、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<投資信託に関する留意点>

投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行の本支店等にご用意しています。

投資信託のご購入、換金にあたっては各種手数料等（購入時手数料、換金時手数料、信託財産留保額等）が必要です。また、これらの手数料等とは別に信託報酬と監査報酬、有価証券売買手数料等その他費用等を毎年、信託財産を通じてご負担いただきます。お客さまにご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となります。

これらの手数料等は各投資信託およびその通貨・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は、目論見書・販売用資料等でご確認ください。

投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資信託は国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。

投資信託は預金ではありません。

投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については三井住友銀行の窓口までお問い合わせください。

三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

三井住友銀行では、上記以外の商品もお取り扱いしています。くわしくは窓口までお問い合わせください。

株式会社 三井住友銀行

登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号

加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会